

「たがさぽ文庫」のご案内

たがさぽの図書スペース「たがさぽ文庫」に新しい本が入りました。

「たがさぽ文庫」は、市民活動やNPO、ボランティアやまちづくりなど、みなさんの活動のヒントになるような書籍を中心に、1,200冊近い蔵書を取り揃えています。中には、一般の書店や図書館には置いていない本もあります。市民活動に関心のある方、すでに活動している方、これから何か活動をはじめたいと思っている方は、ぜひご活用ください。

たがさぽ文庫 本の借り方

1. 利用登録
2. 窓口で貸出カードに記入
3. 借りられるのは1回に2冊まで
4. 2週間以内に返却

新しい本の
一部を紹介
します！



みんなでまもった美術館
宮城県美術館の現地存続運動 全記録

宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク／編著・発行



日本のコレクティブ・インパクト
一協働から次のステップへ

佐々木利廣・横山恵子・後藤祐一／編著 中央経済社／発行



かかわりの循環
ーコミュニティ実践の社会学ー

松宮朝／著 晃洋書房／発行



シジウカラガン物語
しあわせを運ぶ渡り鳥、日本の空にふたび！

呉地正行・須川恒／編 京都通信社／発行

ヒント from

たがさぽ Press

たがさぽのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

HINT/01

Tagajo Sustainable Relationship 2021
～防災とインクルーシブなまちを考える～
ゲストトーク①をレポートします！

2022年2月21日(月)掲載



HINT/02

コロナ禍でもできる
地域で身近な支え合い

2020年10月29日(木)掲載



HINT/03

TAGAJO Future Labo 5th season
「マイアプローチ発表会」を
開催しました！

2020年1月24日(金)掲載



たがさぽホームページ

多賀城市市民活動サポートセンター



@tagasapo



たがさぽPress

たがさぽスタッフによるブログ



You Tube

たがさぽ
チャンネル



tag アンケート

誌面づくりの参考にしたい
と思いますので、ぜひ
ご協力をお願いします！



以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- こんな話題を取り上げてほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている



What's?



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、
みんながタッグを組んで地域をつくる、
多賀城に新しいタグ(価値)をつける、と
いう意味が込められています。

たがさぽちゃん



多賀城市市民活動サポートセンター(通称たがさぽ)は、「もっと
まちを良くしたい!」「地域にあるいろんな困りごとを解決し
たい!」という想いをもって、地域でさまざまな活動に取り組
む市民のみなさんを応援する「地域づくり」の拠点施設です。

発行:多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目25-3
(多賀城市文化センター北隣・上下水道部向かい)

TEL:022-368-7745 / FAX:022-309-3706

発行:2022年6月

編集:NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター



多賀城発で多賀城着。

ヒト・コト・モノを届けます。

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、
社会や地域のために何か活動したいという方を応援する
フリーペーパーです。



▲チアリーダーズと一緒に笑顔で踊ります。体を動かすのが苦手な子ども、大学生やボランティアスタッフがサポートしています。

5月5日、さんみらい多賀城イベントプラザにて、『インクルーシブスポーツキャラバン2022 in 多賀城』が開催されました。

県内の特別支援学校や小・中学校に在籍する児童・生徒総勢127名が集まり、チアダンスやボールを使ったゲームなど、さまざまな運動で交流を深めました。

共催団体のひとつ、障がい者サポーターズGolazo!の相澤直^{ただし}さんは、「会場の前まで来て中に入れずに帰ってしまっていた子どもが、徐々に参加者の輪の中に入れるようになった。今後は、そんな子どもたちに自分で楽しみ方を見つけられるようになってほしい」と話します。相澤さんが目指しているのは、「障がいのある人とない人の垣根がなくなること、それがあたりまえになること」。そんな社会の実現に向けて、このイベントは大きな一歩となるに違いありません。



子どもたちの感想

- ・たくさん体を動かすことができて楽しかった
- ・ダンスをがんばった



保護者の感想

- ・新しい居場所ができました
- ・コロナの影響で閉じこもりがちになっていたので外に出るいいきっかけになった



◀サッカーで元気いっぱい走り回る参加者。相澤さんには「障がいがあっても、こんなこともできる」と保護者の方に前向きに思ってもらいたい」という願いもあります。



インクルーシブ スポーツキャラバン とは?

障がいの有無や程度に関わらず、ともに体を動かし、スポーツの楽しさを体感してもらうことを目的としたイベント。障がい者サポーターズGolazo!を中心に、尚綱学院大学、知的障害者サッカーチームSendai Forza(センダイ フォルツァ)、ペガルタ仙台、開催地の自治体が連携し、それぞれの得意分野を生かして「すべての子どもが楽しめる場」を作っています。昨年6月に多賀城で第1回を開催したのを皮切りに県内各地で今年度も開催。「インクルーシブ」という言葉には「仲間はずれにしない」「みんないっしょに」という意味があります。

イベントの詳細 お申し込みはコチラ

尚綱学院大学ホームページ



